

新しい校舎、大切に使う

―殿田小学校改築工事しゅん工式―

平成18年度から3カ年計画で行った殿田小学校の改築工事が完了し、5月21日にしゅん工式を挙行了しました。

殿田小学校の旧校舎や体育館は昭和33年に建築したもので老朽化が激しく、耐力度調査の結果、危険建物と判定。早急に改築が必要であったため、南丹市が誕生して最初の大きな事業の一つとして改築工事に取り組みました。総事業費は約16億9,900万円、校舎と体育館の全面改築と同時に、ランチルームを併設した日吉学校給食共同調理場、プール、グラウンド



▲謝辞を述べる児童会本部役員の児童たち



▲全施設が完成した殿田小学校

ドを整備しました。

仮設校舎を設置せずに順次工事を進める中で、授業への影響を最小限度にとどめるよう配慮。内装にはできるだけ木を使い、自然光を取り入れて温かみのある明るい学びの空間を確保しました。

しゅん工式では、児童会本部役員6人が感謝の気持ちを発表。旧校舎での思い出や、「ずっときれいに使いたい」「思い出をいっぱい作りたい」と、期待に膨らむ新しい学び舎への思いを語りました。

平成19年度に五ヶ荘小学校と統合し、現在全校児童128人。新たな歴史が刻まれていきます。

「ありのまま」を認めよう

―南丹市民生児童委員協議会「福祉教室」―

5月28日、地域の福祉推進、見守りや支援活動を行う民生児童委員が南丹市国際交流会館に集い、総会と福祉教室を開催。京都美山高等学校の「歌う校長」、大野実氏による「夢の種まき」と題した講演が行われました。自らも経験した不登校や引きこもりに悩む生徒に勇気を与えて自立を支援する大野さんは、「子どもは本当に傷つきやすい。ありのままを認め、丸ごと愛して自信を与えてやってください」と出席者に語りかけました。



▲歌あり、笑いあり、涙ありの講演

女性のつながり広く深く、住み良い地域社会を築こう

―南丹市女性ネットワーク会議発足―

市内の各分野で活躍する女性たちが交流を深め、男女共同参画社会の実現を目指す「南丹市女性ネットワーク会議」が6月27日に発足。南丹市国際交流会館で行われた発足総会では、会則や事業計画について協議、準備会代表を務めた野々口きぬゑさんが会長に選出されました。今後は男女共同参画フォーラム「キラリなんたん！」の開催に取り組むほか、本会を交流拠点に広く女性団体の活動紹介や情報交換などが行われます。



▲発足に向けて協議が行われた準備会の様子